

もとまちタイムズは、基町地区及び基町プロジェクトの情報発信を目的とし、基町プロジェクトにおける活動の一環として発行している情報誌です。
《基町Times》是以发送基町地区以及基町项目的信息为目的的信息杂志。作为基町项目的一环正在发行中。

今回の特集

2019年、
基町プロジェクト6年目に突入!

- [地域の特集1] 基町地区敬老会
- [地域の特集2] 基町町民体育祭
- 土曜日の先生

もと
まち

タイムズ



REPORT

2019年、 基町プロジェクトは6年目に突入しました!

2019年、基町項目向第六年突破!

基町プロジェクトの取り組みを振り返り、今後の展開について意見交換会などを通してお話ししました。

← 次ページに特集記事

地域の特集 1 基町地区敬老会



地域特輯 1 “基町地区敬老会”

9月17日、在基町地区开展了敬老会活动。该地区约有350名老人参加，从基町小学校的儿童到城镇内的舞蹈老师，向参与活动的老人们展示了各种各样的表演。



9月17日、基町地区敬老会が開催されました。地域の約350名のお年寄りがご出席され、基町小学校の児童から町内の舞踊の先生まで、基町で活動される方々の様々な演技が披露されました。

地域の特集 2 基町町民体育祭



地域特輯 1 “基町町民体育祭”

10月21日、是基町町民美好的的一个秋日。工作人员和学生们也参加了最后的町内对抗接力赛!

10月21日、基町町民体育祭が開催されました。昨年の天候と打って変わって、吸い込まれそうなほどの秋晴れが見事な1日でした。最終種目の町内対抗リレーではスタッフや学生も走らせていただきました!



MOTOMACHI CAFE



もとまちカフェだよ!
11月25日(日)、もとまちショッピングセンター上の人工地盤でひかりのカフェを行いました。もとまちカフェのメンバーで手作りしたランブレードを使い、軽公園の階段から人工地盤の藤棚までを飾りつけました。また、訪れられた子ども達やもとまち内外の方に、コーヒやお茶などの飲み物を無料で提供し、子ども達とは鬼ごっこなどしながら楽しい時間を過ごしました。
冬の冷たい空気がなが、ランプの灯りと、高層ビルからもれる生活の灯りがあわさった空間はあたたかく綺麗でした。今後この空間が、人が集うにぎわいの場となったら嬉しいです。
(作文:小越春花 撮影:栗田真奈美)

MOTOMACHI Project



基町の資料や写真、昔話、集めています!
昔の何気ない日常も、かけがえのない1つの歴史
とある冬の日、任人の方が新聞記事の切り抜きを見せにきてくださいました。それは平成元年の基町ショッピングセンターの賑わう様子を伝えるもので、店舗で忙しく活躍されていた主人が取材を受けておられました。基町任人地区の現在しか知らないM98スタッフにとって、基町の日常の歴史を知るための大変貴重な資料です。切り抜き記事はパソコンデータにして、この先何十年も見返せるように記録をしました。新聞記事を見せてください。心より感謝いたします。
基町プロジェクトでは引き続き基町での普段の暮らしの様子を地域の歴史の1つとして大切に記録し、保管いたします。
◆ご自宅に眠っている写真や、基町にゆかりのある一品はありませんか? まずは、基町プロジェクトのスタッフ(基町郵便局2つ隣のM98)までお気軽にお声がけください。

もとまち

基町プロジェクトの活動記録

私たちの日々の活動の一部をご紹介します。他にも基町プロジェクトでは、私たちの活動を紹介するための空間整備や、地区内の環境向上に貢献できるものを考えたり作ったりしています。



11月3日 文化の日ワークショップ協力

アーティストの吉野太郎先生にお越しいただき、地域の方と一緒に栗の皮をむき、実は栗ご飯に、皮は染料にして芸術の秋を楽しみました。
(広島市立大学特色研究「基町高層アパートにおけるメタボリズム建築とコミュニティの文化社会学的検証」の関連企画)



11月10日 基町高層アパート見学会

広島県主催の「たてもものがたりフェスタ」の一環として、今年も基町高層アパート見学会を実施し、18名の方にご参加いただきました。



12月1日 ワークショップ「カメラマンになりきろう!」協力

広島市立大学の学生有志が、基町小学校の児童と一緒に一眼レフカメラを使って写真撮影をしました。
(主催:広島市立大学学生有志による今の基町を撮るプロジェクト)

MOTOMACHI Project EVENT ARCHIVE



12月22日・23日 シルクスクリーンで簡単バッグ作り

広島市立大学3年生の授業の一環で、基町小学校の児童を対象にシルクスクリーン体験講座を開きました。



2月2日 グローバルキッチン「ジョージア国の料理体験」

料理人の芥川俊助さんにお越しいただき、ジョージア(グルジア)国の家庭料理「ヒンカリ」を23名の参加者と作って食べました。

編集後記

▲M98スタッフ・増田 | この1年、様々な方にお話を聞く機会がたくさんありました。賑わいづくりを目指す中で、その中の1つ1つの声の貴重さを感じました。お話を聞かせてくださったみなさん、ありがとうございました。
▲M98スタッフ・片島 | M98にいると沢山の方に声を掛けて頂く機会が増えました。また、基町に実際に住んでいる学生と若年世帯の方々から、基町の良さを沢山教えてもらい新しい発見がありました!

基町プロジェクトとは?

「基町プロジェクト」は、平成25年7月に広島市が地元住民と連携しながら策定した「基町住宅地区活性化計画」に掲げている「基町アートロード、アートによる魅力づくり」の実現を目指す取組です。若者が主体となった創造的な文化芸術活動や地域交流を通じて、まちの魅力づくりや、基町住宅地区の活性化を目的とします。
実施にあたり広島市立大学と中区役所が連携し、2014年5月に活動拠点「M98」を構え、試験的な活動を行いながら「基町プロジェクト～施策展開を図っていくための方向性と基本コンセプト～」を策定しました。2015年より本コンセプトに基づいて長期的な目標を見据えた取り組みを行っています。



4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6		1	2	3	4			
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

開所日:
毎週木曜日～土曜日
開所時間:10時～17時
※予告なく変更になる場合があります。

基町プロジェクト M98
広島市中区基町16番17-2-103
(基町郵便局2つ隣)

イベント情報はウェブサイトでもご確認いただけます。 基町プロジェクト
基町プロジェクトホームページ <http://www.motomachiproject.net> Facebook <http://www.facebook.com/motomachiproject>



まだまだ入居者募集中です!
 基町住宅地区の活性化を支援する若年世帯・学生枠は、55世帯の入居受け入れを目標としています。現在11世帯(※)。受け入れ拡大のために入居条件の見直しも進んでいます。ぜひお気軽にお問合せください!
 ※平成31年2月時点で若年5世帯、学生6世帯入居中



PICK UP
 学生入居者の富嶋くんに聞いてみました!

Q この1年どんな地域行事に参加してましたか?
 A 住んでから1年経ちました。最初は、自治会長さんや声かけをもらって、毎月第1日曜日に自治会の定例会に参加しています。他にも、PTAの親子の電車替え草むしりなど、町民体育祭では1を走りました。
 Q そんなにたくさんやって、忙しくないですか?
 A 全然そんなことはないです。まず、住んでやることの手伝いなので、効率的にやっています。自治会長さんにも助言をもらって、参加する行事は多岐にわたりますが、あまり無理はかけないで、ゆるゆると参加しています。地域行事に参加して、どうですか?自分から行くのが楽しく、時もあるけど、それをわけて役割を与えてくれるのがありがたいです。

**基町を知りたい!
 土曜日の先生**

毎月第3土曜日に「土曜日の先生」を開催しています。「国語」や「社会」など、学校の科目にちなんだテーマを設けて、基町住宅地区にお住まいの方や働いている方、基町住宅地区に詳しい方に先生になってもらい、一風変わった授業を行なっています。



入居のきっかけ
 ●「2年生の頃からまちカフェに参加していた。地域の中の人になりたいという気持ちがあり応募しました。」
 ●「大学の先生に紹介してもらいました。家賃も安いし立地もいいので応募してみました。」
 ●「学校でチラシを見つけて、市内で安い広い部屋に住めるし、ボランティア参加にも興味があったので応募しました。」
 ●「基町に先に友人が入居して知り、応募してみました。」
 ●「2年生の時、学生支援課の先生に基町住宅地区の活性化支援の取り組みを教えてくださいました。」
面接・試験はありますか?
 ●「あります。市役所で受けました。15〜20分くらいでした。面接官が3名いらっしゃいました。」
 ●「この自治会活動に参加するか、面接時に言わなければなりませんか?」(参加者)
 ●「面接時に決める必要はなく、現時点で考えていることを伝えてもらえば大丈夫です。」
2年の頃からまちカフェに参加したのに、きちんと入居条件をクリアできなかった。でも、実際に入居したら入居条件はこれまでのハードルに感じませんでした。」
地域に参加したいけれど...
 ●「平和公園などでボランティアをしたことがありますが、基町の地域活動にはまだ参加していません。参加する方法がわかりません。」
 ●「行事に参加したいので、お会いした時に聞くけど、タイミングが合わず終わってたり、学生同年代間しかいないから話を聞かせているのもしれません。」
基町に住んでよかったこと
 ●「アストラライン、JRバス路面電車アクセスがよく、市内に近くてすぐに住みやすいです。自分が行動すれば日本人だけでなく他国の方などいろいろな人と交流できるのだからいいと思います。」
 ●「基町で掃除や月1の定例会を通していろんな人と顔見知りになったことが、騒音などちょっと怖いことがあっても人のつながりがあるから不安も和らいでいます。」
 ●「朝が早くても夜も早い。特に朝はめっちゃ元気!と声をかけてくれて、元気をもらえます。」

PICK UP
 今後増えていく予定の若年入居者。問題解決のためにアイデアを出し合いました!

第11回
 「若年世帯入居者たちの座談会」
 2月16日(土) | 生活の授業

●「行事がある前に、1回年学生大層者を集めて、関係性や事前確認をした方がいいのでは?」
 ●「連絡の手伝いに行くと、知っている人が自分の自治会長さんかと思ったり、若年世代が他にいると思ったり、誰かいないので結構怖かったです。」
 ●「これから若年世帯が増えてくるので連絡あって一緒に参加できるような心算を作りたいですね。」
アイデアの一例
 ●「月一でメールマガジンを発行して、ミーティングを定期的に行って、連絡関係を回りでやる。若年世帯の自治会を新たに作る。会長が集まる会に出席するといいては?」
 ●「若年、学生枠専用のメーリングリストを作る。」

入居のきっかけ
 ●「基町プロジェクトに関わっていたのもあり、募集を大学で知りました。最初の募集の時に応募しましたが、その時は外れてしまいましたが、家賃が安いと、家の間取りの写真をみて綺麗な部屋だったので、それを決めました。」
 ●「広島市立大学の曲輪に通っています。同じ若年枠で入居されている方に遊びに行った時に、良いなと思い入居を決めました。」
 ●「入居する前は心配もありましたが、実際に部屋を見たらずっと綺麗で、すごく安心しました。」
 ●「元々、専が結構幼稚園に通ってました。ずっと一般枠に申請していたけど、突如から、新聞で若年世帯枠の入居制度を見て応募しました。嫁さんの実家も基町です。」
住み心地について
 ●「隣さんとすく仲良く、自治会長さんにもよくしてもらっています。」
 ●「10年以上住んでいますが、20年以上続けておられる方で、10年はすくつかりしています。」
 ●「住みやすい環境です。何かあった時に自治会長さんに相談します。本音によくしてもらっています。」
 ●「本音におすすです。」

地域行事への参加について
 ●「体育祭に参加したかったのですが、リレーに出る方法がわかりませんでした。」
 ●「参加人数が少なく、体育祭に出ないコトもありました。あと、敬老会と盆踊りは事前準備で手伝っています。」
 ●「地域行事の手伝いは全然大変じゃないです。僕は力仕事の職業についているので、ただ、盆踊りの槽は欲々なんです。組み立てるチームに若いのが僕しかいないので、もうちょっと若い人に出て欲しいです。お年寄りが多いので、高いうち上がってほしいのも心配です。」
若年世帯層のこれから
 ●「私たちが応募した時、2世帯か応募がからなかったのが、今は6世帯募集して全部審査中で埋まっている平成31年2月現在。だんだん認知度が上がってきています。でも、制度として10年以上が条件なので、10年未満の世代は、10年未満で退去するのは不満です。地域の1員としてみんなと同じようにしてほしいです。」
 ●「10年というのとは、成長が考えたら小学校くる年齢で、世帯が地域によく溶け込んでくる年齢だと思います。現在、若年世帯枠学生枠ともに条件を見直し、入居期間の再検討も進んでいます。」(基町住宅担当者)

**以芸術、設計の力量を街の魅力
 渐渐向大衆傳播**

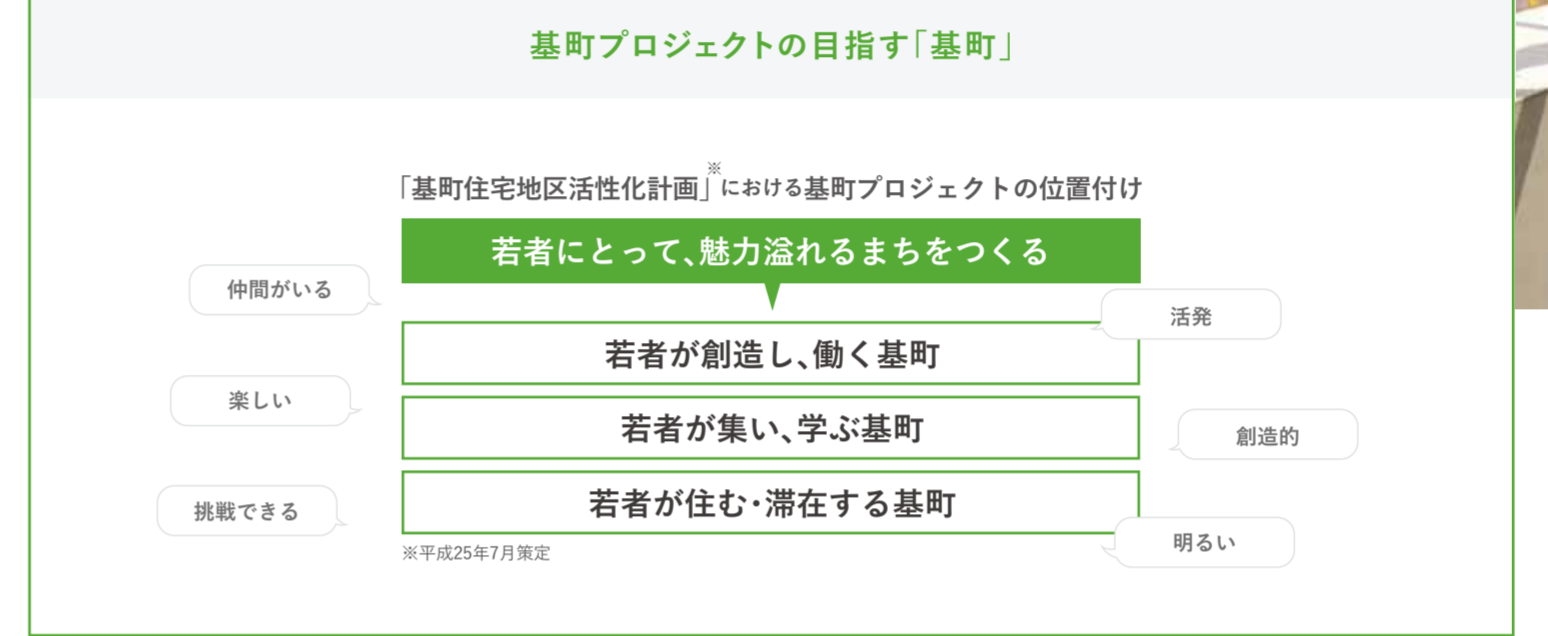
基町プロジェクトは、広島市立大学と広島市中区役所が連携し、アートやデザインの視点から街の魅力づくりや賑わいづくりを実現させる取組を行っています。2014年5月に活動拠点M98を構えて以降、地域の皆さんに見守っていただきながら、現在までに様々な展覧会やイベントを開催してきました。今後、基町プロジェクトはどのようなことを目指すとしているか、昨年12月にプロジェクト活動報告会を開催し、関係者のみなさんと意見交換会をしました。



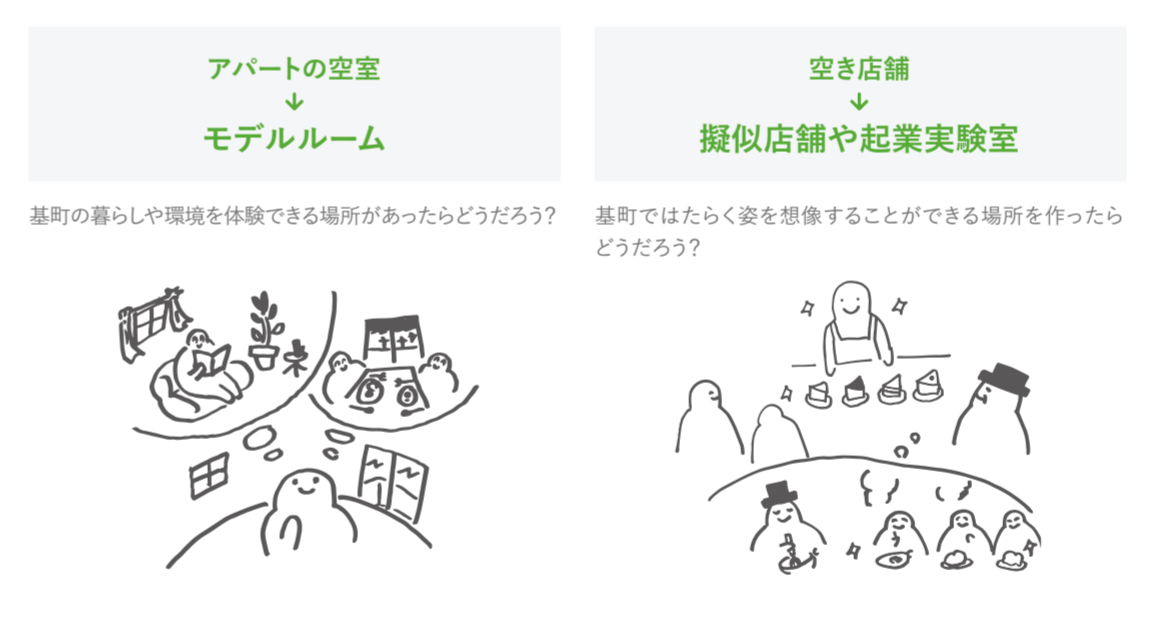
「アートやデザイン」の力で、まちの魅力を発信していきます。基町プロジェクトでは、広島市立大学と広島市中区役所が連携し、アートやデザインの視点から街の魅力づくりや賑わいづくりを実現させる取組を行っています。2014年5月に活動拠点M98を構えて以降、地域の皆さんに見守っていただきながら、現在までに様々な展覧会やイベントを開催してきました。今後、基町プロジェクトはどのようなことを目指すとしているか、昨年12月にプロジェクト活動報告会を開催し、関係者のみなさんと意見交換会をしました。



**6年目に突入!
 基町プロジェクト**



「基町を体験する」仕組みづくり案



年末報告会は12/15(土)、12/20(木)の2回に分けて開催しました。写真はそれぞれの開催風景。

若年世帯入居者・水野さん
 ●「オルタナティブスペース「基町」ショピングセンター内で水野さんが運営しているアートスペースのような、若い人が集まれる店舗が基町ショピングセンター内に新しくオープンしました。基町で何か新しいことができるんじゃないかという期待感が高まってきていると思います。ただ人が増えるのでもなく、面白人が入って欲しいです。」
広島市立大学芸術学部 南学部長
 ●「先日M98に顔を出した時に、学生主体でワークショップをしていましたが、学生が自発的に動いている様子に自然に見えてくるようになってきました。大学には若い力がたくさんあります。基町の担い手としても活躍できる人物が増えていくことを期待します。」

年末報告会での意見交換より
 一般参加者の方々の感想
 ●「建物の内部はまだ見たことないので、モデルルームが実現したらなと思います。(20代、広島市内)」
 ●「住んでいる方が、いいことだよ、おいでって言うるとなれたら、誇りを持っている場所になったらいいなと思います。(20代、広島市内)」
 ●「住民と外部(若者)をつなぐ役割として大いに期待しています。(50代男性、広島市内)」